

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第4部門第1区分
【発行日】平成28年1月7日(2016.1.7)

【公開番号】特開2015-175190(P2015-175190A)
【公開日】平成27年10月5日(2015.10.5)
【年通号数】公開・登録公報2015-062
【出願番号】特願2014-53597(P2014-53597)
【国際特許分類】

E 0 2 F 9/16 (2006.01)

【F I】

E 0 2 F 9/16 Z

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月13日(2015.11.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

この目的を達成するために、本発明は、旋回体と、この旋回体の前側位置に取り付けられる作業装置と、上記旋回体の後側位置に取り付けられるカウンタウェイトと、上記旋回体上に配置される運転席と、この運転席の上方を覆うキャノピと、このキャノピの箇所に配置される収納箱とを備えた建設機械において、上記カウンタウェイト上に設けられ、上記キャノピの支柱の下端が固定される台座と、上記台座、または上記台座に固定される保持部材に保持され、上記収納箱が収容されるホルダとを備え、上記ホルダを上記運転席の背もたれに沿って配置し、上記ホルダに正規に収納させた上記収納箱の上端部が、平面視で上記カウンタウェイトの外周面よりも突出しないように上記ホルダを配置したことを特徴としている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、本発明は、収納箱の収容領域をより広く確保することができ、運転席の背もたれの背面側に形成されるデッドスペースをより有効に活用させることができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、本発明は、旋回体の旋回に際して、ホルダに正規に収容された収納箱が旋回体の周囲の物体と干渉することを防止することができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１５】

また、本発明は、上記発明において、上記ホルダを傾斜させて配置したことを特徴としている。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正６】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項１】

旋回体と、この旋回体の前側位置に取り付けられる作業装置と、上記旋回体の後側位置に取り付けられるカウンタウエイトと、上記旋回体上に配置される運転席と、この運転席の上方を覆うキャノピと、このキャノピの箇所に配置される収納箱とを備えた建設機械において、

上記カウンタウエイト上に設けられ、上記キャノピの支柱の下端が固定される台座と、上記台座、または上記台座に固定される保持部材に保持され、上記収納箱が収容されるホルダとを備え、

上記ホルダを上記運転席の背もたれに沿って配置し、

上記ホルダに正規に収納させた上記収納箱の上端部が、平面視で上記カウンタウエイトの外周面よりも突出しないように上記ホルダを配置したことを特徴とする建設機械。

【請求項２】

請求項１に記載の建設機械において、

上記ホルダを傾斜させて配置したことを特徴とする建設機械。

【請求項３】

請求項１に記載の建設機械において、

上記ホルダに雨水を排出させる開口部を形成したことを特徴とする建設機械。

【請求項４】

請求項１に記載の建設機械において、

上記ホルダに、上記ホルダへの上記収納箱の収納時、及び上記ホルダからの上記収納箱の取り出し時に、上記収納箱を把持する人の手との干渉を避ける切り欠き部を設けたことを特徴とする建設機械。